

# 図書館だより 11月

R2・11・5

こんにちは。寒い日が続く、冬が近づいてきましたね。

11月27日は、ノーベル賞制定記念日です。1895年にスウェーデンの化学者アルフレッド・ノーベルが、自らの発明したダイナマイトで得た富を人類に貢献した人に与えたいという遺言を書いたことから、ノーベルの死後、ノーベル財団が設立され、1901年の11月27日にノーベル賞の第1回受賞式が行われたそうです。

10月5日～12日には、2020年のノーベル賞が発表されましたね。今年は、残念ながら日本人の受賞者はいませんが、過去には27人の日本人がノーベル賞を受賞しています。

アルフレッド・ノーベルについては、『ポプラディアプラス人物事典 3』ポプラ社/210に載っています(^\_^)

## おすすめ本 テーマ:ノーベル賞

### 『伊豆の踊子』

川端康成 著 新潮社

913  
カ

1968(昭和43)年にノーベル文学賞を受賞した作家。孤独に悩み、伊豆へのひとり旅に出かけた主人公。清純無垢な踊子への想いをつのらせ、孤児意識の強い主人公の心がほぐれるさまは、清冽さが漂う美しい青春の一瞬。

### 『iPS細胞の研究室』

志田あやか 著 東京書籍

491

2012年に山中伸弥博士がノーベル生理学・医学賞を受賞したことで、一躍有名になった iPS 細胞。iPS細胞の基礎知識から最先端の研究まで中学生からでもわかりやすく読みやすく解説します。

### 『わたしを離さないで』

カズオ・イシグロ 著 早川書房

933  
イ

2017年にノーベル文学賞を受賞した作家。優秀な介護人キャシー・Hは「提供者」と呼ばれる人々の世話をしている。彼女は生まれ育った施設での奇妙な日々を思いをめぐらす。その回想は残酷な真実を明かしていく。

### 『名古屋ノーベル賞物語』

中日新聞社社会部 編著 中日新聞社

289

2008年にノーベル物理学賞を受賞した科学者・益川敏英、小林誠両氏の生い立ち、少年時代、名大での学生生活、2人の出会いなどを克明に描いた。そのほかに受賞関連記事や記念講演録を収録。



## 図書館からのお願い

- 図書館から本を持ち出すときは、必ず貸出手続きをしましょう。  
授業で使う場合もカウンターまで持ってきて手続きをお願いします。
- 借りていない本を棚に戻すときは、正しい位置に戻しましょう。
- 図書館内では静かにしましょう。友だちと話す時は図書館の外をお願いします。
- ページがはずれていたり、壊れてしまっている本を見つけたら、カウンターまでお願いします。



## 10月の人気本

- 第1位  
『5分後に意外な結末ex チョコレート色のビターエンド』  
桃戸ハル 著 学研プラス / 913
- 第2位  
『言葉屋』 久米絵美里 著 朝日学生新聞社 / 913ク

## 10月クラス別貸出冊数

- 第1位 1年2組  
第2位 2年1組 第3位 2年5組